

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス

コード番号 8415 URL <http://www.kyfg.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 片山 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ企画部長

(氏名) 成田 幸夫

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 平成21年11月30日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	42,739	△4.2	3,992	—	2,146	△11.1
20年9月中間期	44,603	2.3	△247	—	2,415	△67.5

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
21年9月中間期	2.90	2.15
20年9月中間期	3.27	2.56

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率 (第二基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
21年9月中間期	3,521,829	150,814	4.2	155.58	11.08
21年3月期	3,437,616	125,335	3.6	120.13	10.96

(参考) 自己資本 21年9月中間期 148,872百万円 21年3月期 123,440百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注)「連結自己資本比率(第二基準)」は、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らしそれらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第20号)」に基づき算出しております。

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,500	△1.4	7,400	—	5,600	289.2	6.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月中間期	739,976,454株	21年3月期	739,841,714株
② 期末自己株式数	21年9月中間期	700,199株	21年3月期	685,313株
③ 期中平均株式数(中間期)	21年9月中間期	739,241,231株	20年9月中間期	738,985,438株

#### (個別業績の概要)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	2,935	△17.1	2,719	△18.0	2,710	△18.2	2,710	△18.1
20年9月中間期	3,541	32.2	3,318	37.4	3,313	38.0	3,309	39.6

1株当たり中間純利益	
	円 銭
21年9月中間期	3.67
20年9月中間期	4.48

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年9月中間期	142,409		137,366		96.5		139.96	
21年3月期	142,625		137,601		96.5		139.23	

(参考) 自己資本 21年9月中間期 137,366百万円 21年3月期 137,601百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△17.7	2,600	△18.9	2,500	△21.7	2,500	△21.5	2.53

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項等につきましては、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期					
第一種優先株式	—	0 00	—	14 00	14 00
第4回第一種優先株式	—	0 00	—	15 00	15 00
第二種優先株式	—	0 00	—	10 00	10 00
22年3月期					
第一種優先株式	—	0 00			
第4回第一種優先株式	—	0 00			
第二種優先株式	—	0 00			
22年3月期(予想)					
第一種優先株式			—	—	—
第4回第一種優先株式			—	13 00	13 00
第二種優先株式			—	10 00	10 00

(注) 第一種優先株式については、平成22年1月30日までに普通株式を対価とする取得請求のなかった株式の全てを、平成22年1月31日をもって当社が取得し、当社の普通株式を交付する予定です。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期のわが国経済は、輸出や生産活動など一部には持ち直しの動きがみられましたが、設備投資は引き続き減少しました。個人消費が低迷し、失業率も過去最高水準となるなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況の中で当社グループでは、紀陽銀行を中心にお客様への総合的な金融サービスのご提供に努め、業績の向上と経営体質の強化に取り組んでまいりました。

資金運用収益につきましては、紀陽銀行において、前年同期末に比べ貸出金残高が増加いたしました。昨年秋以降の政策金利引き下げに伴い利回りが低下し、貸出金利息が減少したことなどから、前年同期比 20億84百万円減少いたしました。また、役務取引等収益につきましては、預かり資産の販売が低調であったことなどから、前年同期比 13億18百万円減少いたしました。これらを主因に、連結経常収益は、前年同期比 18億64百万円減少し、427億39百万円となりました。

連結経常費用は、債券関係の損失が改善しましたことなどから、前年同期比 61億5百万円減少し、387億46百万円となりました。

以上により、当中間期の連結経常利益は、前年同期比 42億39百万円増加の 39億92百万円となりました。

特別損益については、償却債権取立益を計上したことなどにより7億98百万円となり、さらに、法人税等調整額を 20億92百万円計上した結果、連結中間純利益は 21億46百万円となりました。

当社単体の損益につきましては、子銀行からの受取配当金などにより、営業収益が 29億35百万円、経常利益が 27億10百万円、中間純利益が 27億10百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

貸出金につきましては、住宅ローン残高が順調に伸びたことから、前期末比84億円減少し、2兆3,700億円となりました。

預金等（譲渡性預金を含む）につきましては、個人預金を中心に増強に努めた結果、前期末比 532億円増加し、3兆2,511億円となりました。

これらの結果、当中間期末の連結総資産は 3兆5,218億円となり、連結純資産は 1,508億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

地域経済や金融機関を取り巻く環境は非常に不透明感が強い状況にあります。当社グループといたしましては、そのような環境のなかで、着実に成長し、収益力を強化していくために、第2次中期経営計画のもと、目標達成にむけ努力してまいりたいと考えております。

平成22年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの決算内容や、以下のような今後の見通しのもと、平成21年5月15日に公表しました業績予想数値の修正を行っております。

資金利益の前提となる利鞘につきましては、引き続き政策金利の変動はないものの、厳しい競争環境のなか、これまでの見込み同様に預金・貸出金の利回り差はやや縮小すると想定しております。しかしながら、貸出金残高は、中小企業向け貸出や住宅ローンの分野で増加基調は維持できるものと考えており、資金利益は堅調に推移するものと考えております。

役務取引等利益につきましては、金融市場の安定化が進み、投資環境が改善することにより、投資信託の販売において、第2四半期累計期間までの回復基調が持続できるものと考えております。

また、与信費用につきましては、地元企業の事業再生や経営改善支援にかかるコストを織り込ながらも、第2四半期累計期間までとほぼ横這いで推移するものと見込んでおります。

有価証券関係損益につきましては、相場動向の先行きに不透明感が強く、また、日経平均株価が1万円近辺で推移している状況においては、リスクを削減するために、一定の損失を計上し、株式ポートフォリオの改善をはかってまいりたいと考えております。

以上のような状況を総合的に判断し、平成22年3月期通期の連結業績予想につきましては、これまでの予想を修正し、連結経常収益 865億円、連結経常利益 74億円、連結当期純利益 56億円を見込んでおります。

なお、当社単体の業績予想につきましては、変更はございません。

(単位：百万円)

	連結経常収益	連結経常利益	連結当期純利益
前回発表予想	82,900	8,100	6,200
今回修正予想	86,500	7,400	5,600
増減額	3,600	△700	△600
増減率	4.3%	△8.6%	△9.7%

上記の市場情勢や見通しなどについては、現時点における当社の予想、仮定を前提としており、不確実性を内包しております。今後の業績、財務状況等については、様々な要因により変動する可能性があります。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はございません。

- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はございません。

## 5【中間連結財務諸表】

## (1)【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	54,188	60,991
コールローン及び買入手形	49,055	31,422
債券貸借取引支払保証金	30,817	41,760
買入金銭債権	4,692	5,211
商品有価証券	5,263	5,011
有価証券	878,185	801,474
貸出金	2,370,092	2,378,516
外国為替	2,124	3,980
その他資産	49,878	26,627
有形固定資産	34,270	34,054
無形固定資産	19,201	18,686
繰延税金資産	37,298	42,900
支払承諾見返	19,763	21,341
貸倒引当金	△33,004	△34,362
資産の部合計	3,521,829	3,437,616
<b>負債の部</b>		
預金	3,201,509	3,111,213
譲渡性預金	49,664	86,693
債券貸借取引受入担保金	28,312	—
借入金	29,484	42,617
外国為替	27	130
社債	13,800	13,800
その他負債	27,509	35,077
退職給付引当金	89	456
役員退職慰労引当金	40	72
睡眠預金払戻損失引当金	510	604
偶発損失引当金	302	272
支払承諾	19,763	21,341
負債の部合計	3,371,015	3,312,280
<b>純資産の部</b>		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金	64,630	64,630
利益剰余金	33,410	34,204
自己株式	△132	△132
株主資本合計	156,258	157,053
その他有価証券評価差額金	△7,383	△33,611
繰延ヘッジ損益	△2	△0
評価・換算差額等合計	△7,385	△33,612
少数株主持分	1,941	1,894
純資産の部合計	150,814	125,335
負債及び純資産の部合計	3,521,829	3,437,616

## (2)【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
経常収益	44,603	42,739
資金運用収益	32,944	30,860
(うち貸出金利息)	25,519	24,444
(うち有価証券利息配当金)	7,040	6,260
役務取引等収益	6,821	5,503
その他業務収益	4,463	4,663
その他経常収益	374	1,711
経常費用	44,851	38,746
資金調達費用	6,156	5,175
(うち預金利息)	5,265	4,515
役務取引等費用	1,979	1,966
その他業務費用	9,518	2,629
営業経費	19,963	20,527
その他経常費用	7,233	8,447
経常利益又は経常損失(△)	△247	3,992
特別利益	2,284	825
固定資産処分益	17	—
貸倒引当金戻入益	1,247	—
償却債権取立益	1,019	825
特別損失	442	27
固定資産処分損	44	21
減損損失	398	5
税金等調整前中間純利益	1,594	4,790
法人税、住民税及び事業税	341	474
法人税等調整額	△1,192	2,092
法人税等合計	△851	2,566
少数株主利益	30	77
中間純利益	2,415	2,146

## (3) 【中間連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
前期末残高	58,350	58,350
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	58,350	58,350
資本剰余金		
前期末残高	64,632	64,630
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	64,632	64,630
利益剰余金		
前期末残高	35,662	34,204
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,898	△2,940
中間純利益	2,415	2,146
当中間期変動額合計	△482	△794
当中間期末残高	35,180	33,410
自己株式		
前期末残高	△111	△132
当中間期変動額		
自己株式の取得	△15	△4
自己株式の処分	3	1
連結子会社等の持分変動等に伴う自己株式の増減	—	2
当中間期変動額合計	△12	0
当中間期末残高	△123	△132
株主資本合計		
前期末残高	158,533	157,053
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,898	△2,940
中間純利益	2,415	2,146
自己株式の取得	△15	△4
自己株式の処分	2	1
連結子会社等の持分変動等に伴う自己株式の増減	—	2
当中間期変動額合計	△495	△794
当中間期末残高	158,038	156,258

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△14,317	△33,611
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△18,352	26,228
当中間期変動額合計	△18,352	26,228
当中間期末残高	△32,670	△7,383
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△0	△0
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	1	△1
当中間期変動額合計	1	△1
当中間期末残高	0	△2
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△14,318	△33,612
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△18,351	26,226
当中間期変動額合計	△18,351	26,226
当中間期末残高	△32,670	△7,385
少数株主持分		
前期末残高	1,834	1,894
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	23	47
当中間期変動額合計	23	47
当中間期末残高	1,858	1,941
純資産合計		
前期末残高	146,049	125,335
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,898	△2,940
中間純利益	2,415	2,146
自己株式の取得	△15	△4
自己株式の処分	2	1
連結子会社等の持分変動等に伴う自己株式の増減	—	2
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△18,327	26,273
当中間期変動額合計	△18,822	25,478
当中間期末残高	127,226	150,814

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

6【中間財務諸表】  
 (1)【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	626	692
有価証券	5,000	5,000
その他	626	743
流動資産合計	6,253	6,436
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
関係会社株式	131,128	131,128
関係会社長期貸付金	5,000	5,000
その他	19	39
投資その他の資産合計	136,147	136,167
固定資産合計	136,148	136,168
繰延資産	7	20
資産合計	142,409	142,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	8	—
その他	34	24
流動負債合計	42	24
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
固定負債合計	5,000	5,000
負債合計	5,042	5,024
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金		
資本準備金	47,044	47,044
その他資本剰余金	23,981	23,981
資本剰余金合計	71,025	71,026
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	8,069	8,301
利益剰余金合計	8,069	8,301
自己株式	△78	△76
株主資本合計	137,366	137,601
純資産合計	137,366	137,601
負債純資産合計	142,409	142,625

## (2)【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業収益	3,541	2,935
営業費用		
販売費及び一般管理費	223	215
営業費用合計	223	215
営業利益	3,318	2,719
営業外収益	104	93
営業外費用	109	102
経常利益	3,313	2,710
税引前中間純利益	3,313	2,710
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	1	△2
法人税等合計	3	△0
中間純利益	3,309	2,710

## (3)【中間株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
前期末残高	58,350	58,350
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	58,350	58,350
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	47,044	47,044
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	47,044	47,044
その他資本剰余金		
前期末残高	23,983	23,981
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	23,982	23,981
資本剰余金合計		
前期末残高	71,027	71,026
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	71,027	71,025
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	8,014	8,301
当中間期変動額		
剰余金の配当	△2,899	△2,941
中間純利益	3,309	2,710
当中間期変動額合計	410	△231
当中間期末残高	8,424	8,069
自己株式		
前期末残高	△55	△76
当中間期変動額		
自己株式の取得	△15	△4
自己株式の処分	3	1
当中間期変動額合計	△12	△2
当中間期末残高	△67	△78

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	137,336	137,601
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△2,899	△2,941
中間純利益	3,309	2,710
自己株式の取得	△15	△4
自己株式の処分	2	1
当中間期変動額合計	398	△234
当中間期末残高	137,734	137,366
<b>純資産合計</b>		
前期末残高	137,336	137,601
<b>当中間期変動額</b>		
剰余金の配当	△2,899	△2,941
中間純利益	3,309	2,710
自己株式の取得	△15	△4
自己株式の処分	2	1
当中間期変動額合計	398	△234
当中間期末残高	137,734	137,366

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。